

第19回まちづくり懇話会会議概要

平成4年3月17日(火)

午後6時30分～

ホテルリッチ横浜「蘭の間」

出席者 田村 明会長 長島孝一副会長 高橋志保彦委員 相磯富士雄委員
武内和彦委員 佐藤孝治委員 中村 實委員 長谷川善和委員

欠席者 小林重敬委員 蘭田碩哉委員 藤原一繪委員

1 懇話内容

(1) 生涯学習検討部会部会長中村委員より、「市民に根ざした文化と学習を一生涯学習検討部会報告書」が田村まちづくり懇話会会長に報告され、それを受けて、さらに田村会長より市長に報告がなされた。

なお市長への報告にあたり、まちづくり懇話会より次のような意見が出され、それらの意見を報告に付記することとなった。

(生涯学習検討部会報告書へのまちづくり懇話会意見)

- ・推進体制の整備にあたっては、市民参加の協議会に加えて、ワークショップ方式なども取り入れれば、より実効性の高いものになるのではないか。
- ・「逗子の日」の表現については、市民のための「逗子の日」であることがよりわかるような名称をつけたほうが、効果的ではないか。
- ・「逗子ミュージアム」については、いわゆる一般的なミュージアム(博物館)のイメージと混同されないような表現を使ったほうがいいのではないか。
- ・ネットワークの考え方の中で、日常生活圏、非日常生活圏という分類がなされているが、逗子市の生涯学習においては、日常生活圏と非日常生活圏が次第に不可分になる傾向にあるし、またそのほうが望ましいと思う。

この情報は、逗子市
情報公開条例に基づき
交付したものです。
逗子市

(2) グランドデザイン調査研究委員会の進め方について

市長より、グランドデザイン調査研究委員会に関連して、現在開催されている議会において、グランドデザインの調査研究のための委託料が、減額修正される可能性がある旨話があり、それについて質疑応答があった。

(グランドデザインについての質疑応答)

- ・部会としてやっていくのか、一切やらないのか、そのへんをうかがいたい。
(市長) コンサル費用は削られる可能性があるが、そうした場合でもできるのかを、皆さんに逆にうかがいたい。
- ・片肺になってしまうが、研究委員会と市とで作業していくことはできるのではないか。
- ・既存の計画の中で、グランドデザインに関連のありそうなものを抽出して議論を喚起し、それらを総合計画に収斂していくようなことはできないか。
(市長) 総合計画はすでに骨子ができつつあり、タイミング的には間に合わないと思う。
- ・プロジェクト推進課で逗子のまちづくりの核となる3つのプロジェクト(小坪海浜地整備計画、駅前広場整備計画、東逗子再開発)を展開しているが、住民説明会に出席してみると、まちづくり懇話会で議論をしておけばよいと思われる問題を残したまま説明を行っている。担当部局がコンサルと議論をしたのかも疑問である。そうした議論の場をまちづくり懇話会に設定したらよい。そうすればまちづくりに関する各プロジェクトの動きがグランドデザインに反映されてくる。
- ・駅前広場の問題などでは、グランドデザインがないと考えにくいし答えにくい部分がいろいろとある。また市民の側からも、グランドデザインはどうなっているんだという質問が出たりする。
- ・市民の中に、すでにグランドデザインが浸透しつつあると考えていいのではないか。

2 次回懇話会開催について

開催日時 平成4年5月12日(火) 午前10時～正午

場 所 逗子市役所庁議室

この情報は、逗子市
情報公開条例に基づき
交付したものです。
逗 子 市